

図書案内 2016年 11月号

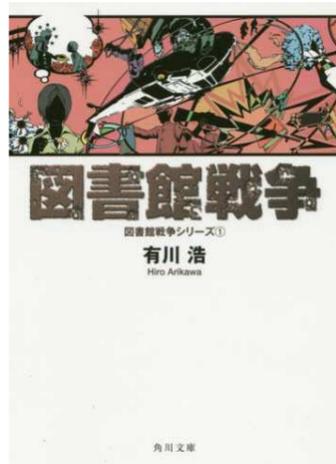
担当 1-4H 富山・中村



最近朝晩が肌寒く、秋の深まりを感じますね。秋といえば、なんといっても読書の秋。そこで今回は、数多くのヒット作品を生み出してきた女性作家「有川浩さん」^{ありかわひろ}のおすすめ作品を集めました。ぜひこの機会に気になる作品たちを読んでみてください。図書館にて貸出しています。



『図書館戦争』シリーズ



高校生の頃、本屋で助けてくれた図書隊員に憧れ、追いかけて図書隊に入った笠原郁という女の子が主人公の話です。本を書く自由、読む自由、本について全ての自由が制限された世界で、郁が本の自由を守るために戦います。アクションあり恋もあり、読んでいて本に引き込まれてしまいます。ぜひゆっくり読んでみてください。本当におもしろい作品です。

2013年と2015年に映画化され、2015年にはテレビドラマも放映された人気シリーズです。「図書館戦争」のほかにもシリーズとして下記の本が発刊されています。興味のある人は是非読んでみてください。



『レインツリーの国』



耳に障害を持つ女性とそのことを知らない男性が、かつて共通して読んだ本の感想をきっかけに出会い、お互いに辛い事情を抱えながらもともにわかり合っていく物語です。置かれた立場の違いからすれ違いが起こる場面もありますが、どんどんページが進む作品です。

「有川浩は苦手」と感じている人にも是非読んでほしい1冊です。

『阪急電車』

これは、阪急電車に乗るさまざまな人のさまざまな事情や心情を描いた物語です。何気なく乗っている電車でも、小さな奇跡が起きたり、誰かが複雑な思いを抱えていたり——とたくさんの出来事があるようです。電車に乗る人たちのいろいろなエピソードが出てくる場面が面白い！

ぜひ読んでみてください。

